

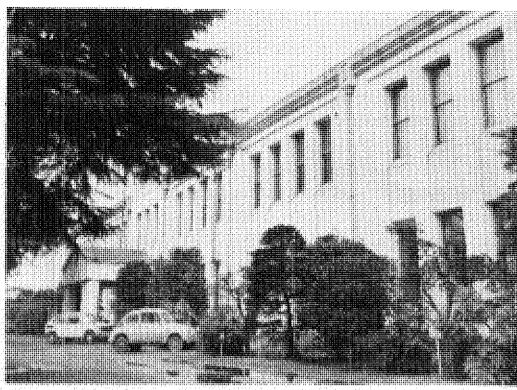


東葛飾高  
廣池学園

## 「五十年」の催し

## 新たに出発へ年輪しのぶ

## 「情操面の充実に努力」…東葛

大正14年に建てられ今なお残る  
東葛飾高の旧校舎

創立五十周年を迎えたのは、県立東葛飾高等學校（校長須田義男氏、生徒数全員制千九十五人、定時制三百三十二人）。

同校は「全日進学希望」の、市内届出の進学校といわれる普

通科の名門で、葉県知事や関係役員が出席しての

柏南高、中原小、藤心小と新設校がめぐら押しの柏市にあって、二つの伝統校が創立五十周年と、建学の礎が確立されることから、これを記念して今月九日と十五日に、それぞれ記念の式典や學術論文の発表を行い、風雪に耐えた五十年の年輪をしのぶとともに、新たな出発を目指す、という。

大正十三年四月十日の設立。柏駅東口巻石堂病院横の長全寺を仮校舎にして、旧制東葛飾中学として開校（発足時二学級、男子生徒百人、第一回卒業生七十九人）厳密には昨年五十周年にあたっていたが、校舎建設、グランド整備の関係から今年に繰り延べたもので、大正十四年現在地に当時は珍しい鉄筋の超モダンな校舎（現在残る旧館）が完成。昭和二十三年学制改革により高等学校となり、男女共学となる。五十年間にこそこそ改革により地域社会及び広い分野に多くの人材を輩出している記念行事は十月十五日、川上千

池千太郎氏）が光ヶ丘の現在地に

で、市内よりむしろ全国的に名が

知られている、学校法人廣池学園（麗澤高校、麗澤大学、学長・廣

校舎建設費に十五万円をかけたと

式典のほか、アトラクションに二

を述べている。

「平和へ貢献する人材を」…廣池モラロジー（道徳科学）の教育で、市内よりむしろ全国的に名が知られている、学校法人廣池学園（麗澤高校、麗澤大学、学長・廣

池千太郎氏）が光ヶ丘の現在地に

で、市内よりむしろ全国的に名が

知られている、学校法人廣池学園（麗澤高校、麗澤大学、学長・廣

池千太郎氏）が光ヶ丘の現在地に



